



かわさき

第 19 号

川崎小学校

文責 校長



第2学期スタート

昨日、始業式を行い、第2学期がスタートしました。体調不良のため欠席した児童も数名おりましたが、夏休み中は事故等もなく、子どもたちの元気な顔がそろいました。

2学期をスタートさせるにあたり、子どもたちには2つのことにチャレンジしようと言いました。

一つは、**元気な**あいさつです。1学期の様子を振り返るとほとんどの子が朝や帰りのあいさつができていま

す。これは大変立派なことです。ただ、中には声が小さかったり、元気が無かったりして、せっかくのあいさつが、相手に伝わらない様子も見られました。そこで、あいさつのレベルアップを目指して「元気なあいさつ」に取り組むことを話しました。

二つは、友達の名前に「さん」を付けるということです。学校生活の中で子どもの人権を大切に、相手を思いやる心や男女が協力する心を育てるために、お互いに「さん」を付けて名前を呼び合うことに取り組めます。実際にそのような取り組みをしている学校に勤務した経験のある職員に話を聞くと、慣れてくれば男女ともに「さん」付けが当たり前になるし、それにつれて学校全体の雰囲気もしっとりとやさしく感じられるとのことでした。本校も教育目標のひとつに「心やさしく思いやりのある子ども」の育成を掲げています。その実現に向けて、この「〇〇さん」の呼称にチャレンジしてみます。

子ども一人一人に、そして学校全体に、成長が現れることを期待しつつ全校で取り組みます。2学期も、どうぞよろしくお願いたします。

今日の出来事から

朝、交通指導を終えて校舎の外を歩いていると、2年生数名が廊下の窓をドンドンと叩いて、私に何かを伝えようとしています。その指さす方向を見ると、窓枠に大きなナメクジがいました。20cmを超える大きさでした。子どもたちも、興奮してみんなに知らせていました。私も驚いて、思わず写真を撮りました。子どもたちも怖い物見たさというのでしょうか、「気持ち悪い。」と言



いながらも、みんな笑顔でした。その後、教員も観察に集まっていました。